

令和2年度 こども園評価について

朝来市立糸井こども園

A：達成している(80%以上) B：概ね達成している(70%以上) C：あまり達成していない(50%以上) D：達成していない(50%未満)

評価項目		評価	今後の改善について	自己評価の妥当性 (こども園関係者評価の意見等)	
園 運 営	1	保護者や外部に教育方針や活動内容をわかりやすく伝えている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの意見で、バス通園児への配慮が足らなかったため、今後は保護者送迎ではない家庭への掲示物の内容を伝える工夫をしていく。 ・PTAとの連携を図り、行事等の教育活動にも異年齢児で取り組んでいることを、具体的に伝えるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染予防の対応しながらの運営は大変であったと思う。盛りだくさんのたより発行でよく伝えておられ、行事等の工夫をしてやってこられたのがよくわかります。 ・春から手洗い等感染予防を徹底されていると聞きました。徹底させるのは大変だと思いますが頑張ってください。
	2	保護者参観・行事・面談・園だより等開かれた園づくりをしている	B		
	3	PTAや地域との連携を図り、特色ある教育活動に取り組んでいる	B		
	4	園児の健康の把握や健康管理等適切な指導や対応ができています	A		
	5	防災・不審者の危機管理等、安全指導に努めている	A		
	6	園内の環境美化に努め、施設・設備等の安全管理を適切に行っている	A		
	7	園運営に教職員の意見が反映されている	A		
	8	職員の資質能力を高めるための研修を十分に行っている	A		
教 育 課 程	1	教育目標が自園の実態を把握し、園児や保護者のニーズにあった内容である	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育目標を職員間で理解し、異年齢児活動を園児の発達に応じた内容で今後も継続して取り組みたい。また、小学校との連携、繋がるような教育活動になるよう園全体で取り組んでいきたい。 ・コロナ禍で、地域にでかけたり、老人クラブとの交流なども全くできなかったため、次年度は、糸井地域の特色などを調べたり、聞いたりしながら活動に取り入れたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの自粛生活、少子化、核家族と他人とのかかわり合いが少なくなっています。異年齢との関わりは友達との団体生活を行う中で、お互いに分かちあう等大切な事が学べ、知ることができいい機会だと思います。 ・コロナ禍が影響し地域との交流がなかったのは残念でした。今後、子どもたちとの関わりかたも変えていかねばならないと思います。
	2	園児の発達に即し、遊びを中心とした体験的な教育に取り組んでいる	A		
	3	生きる力の基礎を身につける指導・工夫をしている	B		
	4	心の教育・道徳性の芽生えを養う指導や工夫をしている	B		
	5	地域を活かした特色ある教育活動を行っている	C		
	6	保・小・地域等との交流や連携を行い、保育活動に活かしている	B		
	7	指導計画・行事の作成にあたっては教職員で話し合っている	A		
保 育 活 動	1	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に関心をもてるよう工夫している	A	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩等園外にいけない状況でも園内での活動の中で遊びを通して興味関心をもてるような環境を今後も工夫し取り組んでいく。 ・園児一人一人の発達を理解し保育活動の状況を園内研修や職員会議で情報共有できるようにする。 ・日々の生活や保育活動内容を、保護者に丁寧に具体的に伝える工夫をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界でも幼児教育がとても大切で人間形成の時期であるといわれています。どのような時代でも柔軟に対応でき我慢強い子に、他の人の事を考えることができる優しい子を育ててください。 ・自分の思いを伝えることは難しいことです。伝えるだけでは解決できないことなのかもしれません。その都度話し合いながら、解決していく事を大切にしながら今後も頑張ってください。
	2	園児一人一人の発達を明確にし、共に育ち合える保育になっている	A		
	3	生命を大切に作る心や、規範意識が芽生えるよう指導している	B		
	4	自分の思いを言葉等で伝え、相手の思いに気づく力や、伝え合う喜びを培っている	B		
	5	健康・安全に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいる	A		